

苺 育苗栽培管理（前半）について

令和3年4月
アグリ技研㈱

項目	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
作業	親株の追肥・防除（二次苗）			採苗時期（受苗）						切離時期		

防除	枯れ性やダニ類（タンソ・イオウ・ウドンコ・ハダニ、アブラムシ、ヨトウ）*ウドンコには、シリカ水（1000倍）の混用
----	---

肥料（育苗期）	親株に味太郎20g 又はグローアーM錠剤1粒	苗株に味太郎5~7g 30~40日間隔 又はグローアー
	親株にアミクエ500倍+ウルル7号500倍灌注	苗株にアミクエ500倍+ウルル7号500倍灌注
	育苗期は、定期的に追肥、カル元気1000倍葉面散布	徒長抑制・分化対策にPKゴー2000倍葉
	苗の充実にPKゴー2000倍+クドグリーン500倍混用葉面	

肥料（元肥）	鮮彩ロング	8袋	ゆっくり遅効性には「味太郎」	マルチ前追肥に味太郎 3袋
	豊作源	8袋		
	珪リン酸	3袋		
	腐植酸	3袋		
	モンネン	3袋		
	カルタマQ	5袋		
			土壌分析数値に応じて施肥	

ポイント	<p>* 本年はランナーの発生も良好、乾燥気味で十分な灌水に努め追肥も置き肥と液肥を使用する。</p> <p>* 前半から根張りには十分に対策を取る。 「アミクエ・PKゴー」</p> <p>* 花芽分化確認後に適時に定植する。 「高温などで早植えを避けてなるべく遅植えとする」</p>
------	--